



イマジン ロータリー

RI会長 ジェニファー・ジョーンズ

2022-2023年

Rotary District 2640 Japan

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST



海南東ロータリークラブ

会長 中村 俊之 幹事 千賀 知起 SAA 田中 淳

第 2105 回例会

2022年7月25日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

前年度決算報告・監査報告、本年度予算
100%出席表彰

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 44名 出席者数 24名

出席義務規定適用免除会員 3名

出席率 58.54% 前回修正出席率 68.29%

4. 会長スピーチ

会長 中村 俊之 君

皆さんこんにちは。まず、報告事項ですが、7月23日(土)に2640地区のクラブ会員増強・維持委員長会議に出席してきました。出張帰りで疲れていたもので、居眠りをしてしまうのではと思っていましたが、講師の田中久夫さんが大学教授をしているだけに話も聞きやすく、最後まで楽しく勉強させていただきました。



次に6月13日に開催された理事会に於いて決定した主な内容について報告させていただきます。

- ・8月プログラムの件
- ・国際奉仕委員会 地区補助金事業計画の件
前年同様にフィリピンにて手洗い場の設置、修繕
- ・予算案の件 この後、千賀幹事より説明
- ・新入会員歓迎会の件 8月1日(月)にて行う
- ・IDMの件 9月末から10月10日の間に開催予定
- ・RLI、DL(ディスカッションリーダー)推薦の件 今年推薦者なし

以上の件が可決されました。

続きまして、2022年規定審議会において採択された制定案に対する意見表明について、理事各位と話し合いの結果 22-15の衛星クラブについても会員はいずれかのクラブの会員となる。(スポンサークラブとの関係が薄くなる)

02-71 クラブの管理の試験的プロジェクトについて規定する件(クラブを監督する方法として現在の地区の役割に代わる組織が創設される可能性を包含している。)

2件について立法案反対を表明することとし、立法案反対表明を提出する事と致します。

さて、本日例会は決算報告・監査報告、予算案審議、100%出席表彰を行います。

予算案につきましては、物価高騰により例会費(食事代等)の増額や円安によるRI人頭分担金、ロータリー財団への増額もありましたが、何とか本年度は会費を上げることなく予算組をすることができましたが、本会計が厳しいやりくりの中、特別会計が繰越等により潤沢な予算があるといういびつな状態となってきています。今後どのように調整していくか考えなければいけない状況になってきていると考えられます。

5. 幹事報告

幹事 千賀 知起 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山東 RC 8月4日(木) → 8月4日(木)

18:30~ ダイワロイネットホテル

和歌山中 RC 8月5日(土) → 8月5日(土)

18:00~ 「納涼家族会」

ダイワロイネットホテル

○例会取り止めのご案内

和歌山北 RC 7月25日(月) 8月1日(月)

有田南 RC 7月26日(火) から当分の間

和歌山西 RC 7月27日(水) → 26日(火)

新宮 RC 7月27日(水)

和歌山城南 RC 7月28日(木)

海南西 RC 7月28日(木)

○休会のお知らせ

和歌山東南 RC 8月10日(水) 31日(水)

和歌山中 RC 8月12日(金)

6. 前年度決算報告・監査報告

直前幹事

宇恵 久視 君

監査報告

岸 友子 君



四つのテスト 選任はこれに決まっています

- ① 真実かどうか
- ② 好意と友情を深められるか
- ③ みんなに公平か
- ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002
海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

7. 本年度予算案 幹事 千賀 知起 君
 予算案の説明後、審議し、原案通り承認しました。



8. 100%出席表彰

- 31年 谷脇良樹 山東剛一
- 26年 花畑重靖
- 25年 花田宗弘
- 22年 山畑弥生
- 21年 寺下 卓 上野山雅也
- 18年 中西秀文
- 17年 阪口洋一
- 15年 魚谷幸司
- 12年 中村俊之 千賀知起 大江久夫
- 10年 田岡郁敏
- 9年 重光孝義
- 5年 前田克仁
- 4年 宇恵久視 倉橋順子
- 3年 田中 淳
- 2年 角谷太基 楠部 均
 奥 喜全 田中祥秀

9. 閉会点鐘



ロータリーによる対応
 ウクライナ支援

ロータリー財団と世界中のロータリークラブが、戦争で家を失ったウクライナの人びとに資金、物資、サービスを提供するため、迅速に行動しています。ロータリー財団は、1,500万ドル以上の寄付を集め、ウクライナの人びとに水、食料、シェルター、医薬品、衣料などの必需品を提供するための支援を行っています。4月30日以降に災害救援基金に寄せられたご寄付は、災害からの復興支援を必要とする世界中の地域社会で利用することができます。



ポーランドにある倉庫で、寄贈された物資を梱包するロータリー会員とその他のボランティア。難民の主要な拠点で、欧州のクラブからの援助の調整が行われています。

寄り添う家族

ロシアがウクライナに侵攻した直後、イリーナ・ブシュミナさんは、キーウ（キエフ）の自宅からオーストリアのウィーンに避難し、ロータリアンの家に身を寄せました。Kyiv-City ローターアクトクラブの会員であるブシュミナさんは、Rotaract Europe と協力し、「United for Peace」というウェブサイトを通じて数千人の難民のためのシェルターを探しています。

「以前からロータリーは大きな家族だと話してはいましたが、今では本当にそれを実感しています」とブシュミナさん。このファミリーは、難民に寄り添ってくれる人たちだと感じています。

平和の祈りを込めたコンサート

エレナ・ボンダレンコ（平石）さんは、ウクライナ東部のドニプロで育ちました。父親はウクライナ人、母親はロシア人。21歳で広島に移り、広島西南ロータリークラブの会員である夫の雅史さんと出会いました。ウクライナ戦争が勃発したとき、当時第2710地区ガバナーだった杉川聡氏から、広島西南ロータリークラブで話をするよう招待されました。ボンダレンコさんは、日本のクラブとウクライナのロータリーリーダーを結びつけ、救援活動を支援しました。

バイオリンを習っている末の息子さんも、音楽を通じて支援活動に参加しています。春にはピアニストの友人と室内楽コンサートを開き、その収益金をウクライナの人びとの支援に充てています。

「音楽とは、国を問わず誰でも理解できる共通言語だと思います。コンサートの前、息子は『平和の祈りを込めて弾く』と言っていました」

次回例会

第2106回 2022年8月1(月)
 海南商工会議所 4F 19:00～
 お誕生日、結婚記念日のお祝い
 新会員歓迎会



ニコニコ・BOX

- 土井 元司 君 孫がコロナにかかり、7日間自宅にてようやく解除されました。
- 宇恵 久視 君 魚谷さん、昨日はありがとうございました
- 谷脇 良樹 君 魚谷さん、大変お世話になりました。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか